

1. 道路整備計画
2. 市道路整備状況
3. 公共土木施設災害発生状況

建設課 土木係

## 1. 八幡平市道路整備計画とは

### 1-1. 計画策定の背景と目的

平成17年9月1日、旧西根町・松尾村・安代町の3町村が合併して八幡平市が誕生し、令和5年度で19年目を迎えています。  
本市の道路整備事業は、これまで主要幹線市道や住民生活に密着した市道について、合併前の計画を受け継ぎ実施してきましたが、現在、合併後課題となっていた幹線などの整備に一定の目処がついてきたところです。

このことから、今後、整備すべき市道の位置付けを明確にするとともに、各路線の整備優先度を検討し、より効率的・効果的な事業推進に取り組むため、市の管理道路を対象とした「八幡平市道路整備計画」を平成26年度（平成27年2月12日）に策定しております。

尚、市の管理する道路は、令和4年度末現在で、権限移譲県道の内、主要地方道1路線、一般県道5路線、市道（一級66路線・2級66路線・その他870路線）1002路線の全路線数1,008路線です。

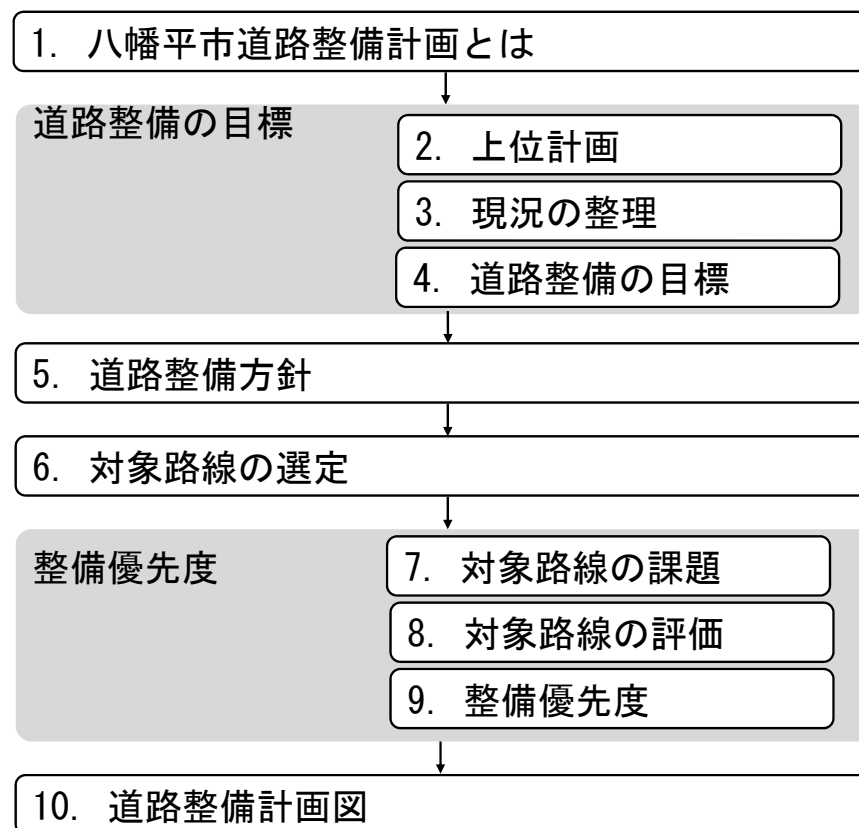
## 1-2. 計画の位置付け

本計画は、八幡平市総合計画 後期基本計画の基本目標である「自然と共生する快適な住環境のまちづくり」のもと「社会基盤の整備」の中で計画策定が位置付けられており、最も身近で住民生活と密着した市道の整備について、各行政計画と整合を図り、市の総合的な計画として展開するための基本的指針となるものです。

本計画により、今後整備すべき市道の位置付けを明確にするとともに、各路線の整備優先度を検討し、道路整備の透明性と効率性を保ちながら、市内の地域間の連携強化を図り、利便性、安全性の向上を図るため整備を進めていきます。

## 1-3. 計画策定方針

次の流れに沿って道路整備計画の策定をしております。



1-4. 計画期間

計画期間は、平成27年度～平成46年度の20年間とし、5年を目安に整備優先度等の見直しを行います。

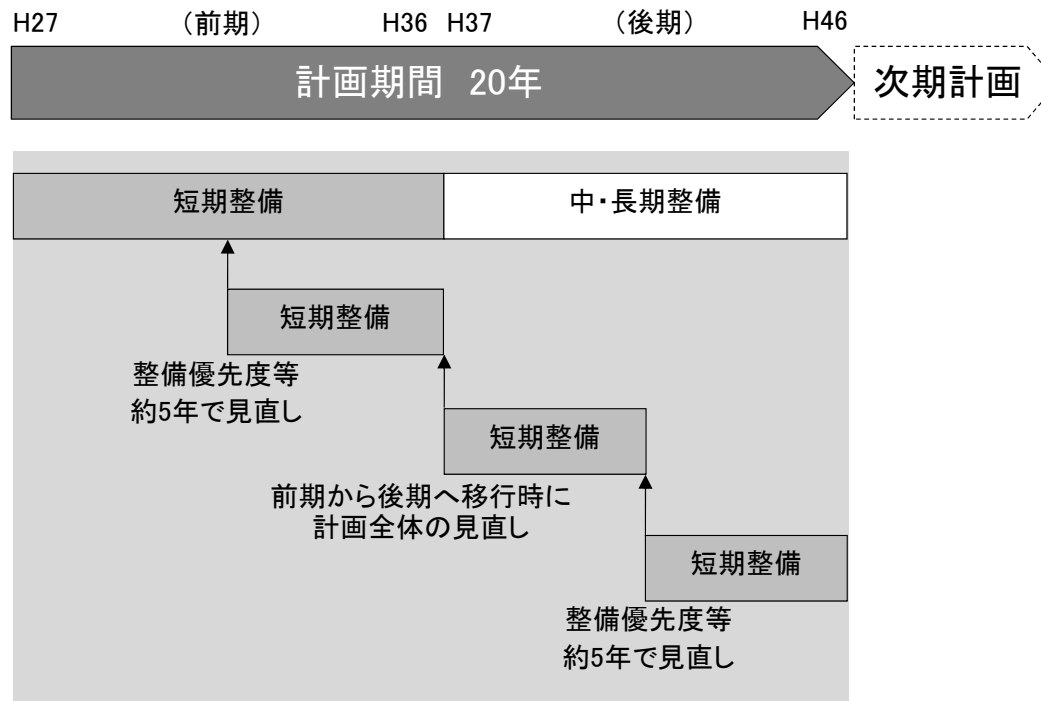


図 計画期間

## 1. 市道整備の状況

市道の整備状況は、八幡平市道路整備計画に基づき、整備優先順位、地域要望、継続事業等の状況を検討し、計画する全路線数68路線の内、完了路線が8路線、施工中が13路線、検討中が47路線となります。

現在、施工中の事業は下記のとおりです。

令和4年度末現在の整備状況

八幡平市道路整備状況					
No.	事業名	事業個所	事業内容等	国の補助事業名称	整備状況
1	市道山子沢線整備事業（大更小学校側及び東大更小学校側）	大更	歩道整備 L=1,670m	社会資本整備総合交付金事業	施工中
2	大更駅西口駅前広場整備事業	大更	融雪機器設置 一式	社会資本整備総合交付金事業	施工中
3	市道森合線外整備事業	大更	拡幅、歩道整備 L=1,480m	社会資本整備総合交付金事業	施工中
4	市道鴨志田線整備事業	安代	拡幅、歩道整備 L=2,250m	社会資本整備総合交付金事業	施工中
5	市道永持1号線整備事業	平舘・松尾	拡幅、歩道整備 L=1,500m	社会資本整備総合交付金事業	施工中
6	市道十二林線整備事業	田頭	改良舗装 L=440m		施工中
7	市道スマートインターチェンジ上り線・下り線整備事業	安代地区	上り線：改良舗装160+100=160m 下り線：改良舗装200+130=330m	スマートインターチェンジ整備事業	施工中
8	市道柵沢線整備事業	平舘	改良舗装 L=460m（橋40m）		施工中
9	田山パーキング緊急流入路・退出路整備事業	田山	上り線：改良舗装L=20.0m 下り線：改良舗装L=44.0m	社会資本整備総合交付金事業	施工中
10	市道牧野線整備事業	平笠	改良舗装L=2,370m		施工中
11	市道松森山後谷地線整備事業	大更	道路拡幅L=270m 水路整備L=250m		施工中
12	市道南北支線整備事業	松尾寄木	改良舗装L=590m	社会資本整備総合交付金事業	施工中
13	市道大更駅東線整備事業	大更	改良舗装L=300m（中央～赤森）		施工中

## 市道山子沢線整備事業(大更小学校側)

## ◆事業経緯・課題

令和4年度で市道山子沢線の改良済み区間から県道渋民田頭線までの修正設計を実施した。  
また、県道と市道と変則交差路についても公安委員会と協議を行い、当初計画の交差点構造で了解を頂いた。  
令和5年度では、一部改良舗装工事を実施します。

## ◆令和5年度の事業概要

改良延長 L=100.0m(NO,3~NO,8) 電柱移転補償 1本





## 市道鴨志田線整備事業

### ◆事業経緯・課題

令和4年度で市道軽井沢高畑線から市道桜松線の区間の用地測量、木造建物調査及び算定、住宅敷地算定、倉庫算定、独立工作物調査及び算定、4級基準点設置、用地幅杭設置等を計画し、現在繰越明許で実施している。

令和5年度では、安代診療所脇の歩道整備を実施します。

### ◆令和5年度の事業概要

歩道整備 L=90m





## 市道永持1号線整備事業

### ◆事業経緯・課題

令和4年度で詳細設計を実施した。

令和5年度ではJR花輪線の新設踏切の詳細設計を実施します。

### ◆令和5年度の事業概要

新設踏切詳細設計業務 1. O式(測量、踏切詳細設計、電気設備予備設計)



## 市道南北支線整備事業

### ◆事業経緯・課題

令和4年度で概略設計を実施した。

令和5年度では市道南北支線と市道又架線の交差点部の一部改良工事を実施します。

### ◆令和5年度の事業概要

道路詳細設計 L=130.0m 改良延長L=130.0m 不動産鑑定業務 1.0式 用地買収 3名





## 田山パーキング緊急流入路・退出路整備事業

## ◆事業経緯・課題

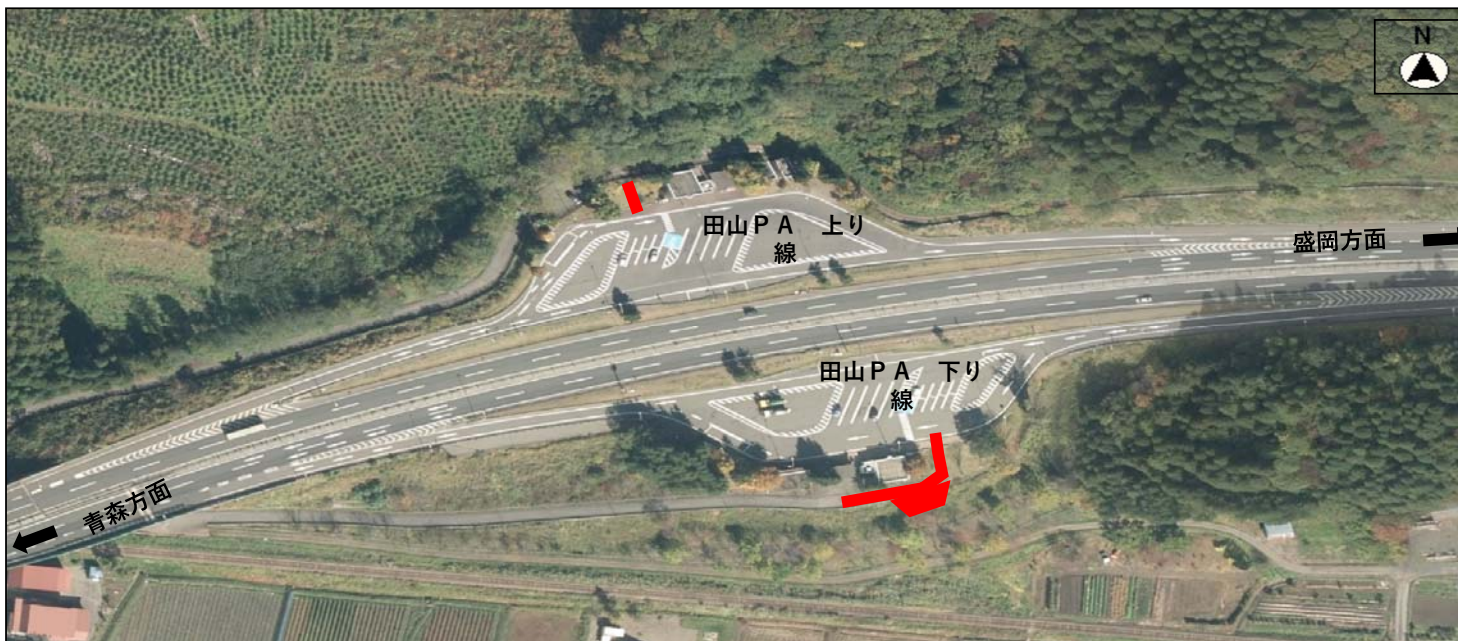
令和4年度で用地測量及び補償調査を実施し、不動産鑑定及び用地買収については繰越明許で実施します。

令和5年度では、工事に向けてNEXCOと協議及び各種協定書締結と工事発注となります。

当該工事は、NEXCOが既に発注している工事（R5年度から令和6年度まで実施）に負担金として支払い、施工頂くものです。

## ◆令和5年度の事業概要

改良工事費負担金（上り線 L=20.0m）



## 市道山子沢線整備事業(旧東大更小学校側)

### ◆事業経緯・課題

令和4年度で、用地及び補償物件(立木)について契約をし、令和4年度の繰越明許で立木伐採後、用地買収を実施しています。

令和5年度では、河川の切替工事を先行して実施します。

### ◆令和5年度の事業概要

河川切替工事L=43.0m 物件移転補償(工事用仮設道路分)2名





## 市道森合線整備事業

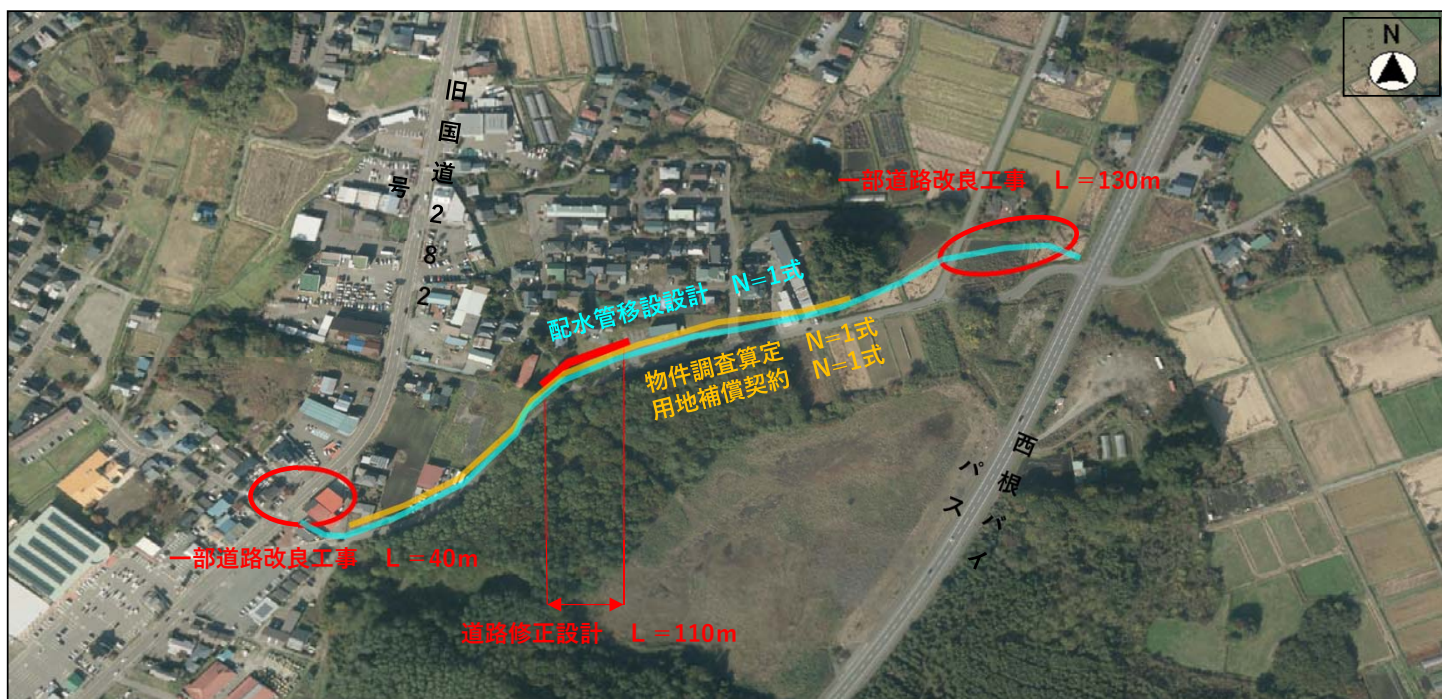
## ◆事業経緯・課題

令和4年度で、建物補償及び代替地協議、用地買収を行い、契約を頂いております。

令和5年度では、地権者交渉に伴う道路修正設計、物件調査算定、用地買収、物件補償、配水管移設設計、工事発注を実施します。

## ◆令和5年度の事業概要

道路修正設計L=110m、物件調査算定業務N=1.0式、用地補償契約N=1.0式、一部道路改良工事 L=170m  
配水管移設設計 N=1.0式



## 市道松森山後谷地線整備事業

## ◆事業経緯・課題

令和4年度で、用水路整備をL = 152.5m実施した。

令和5年度では、残りL = 75.0mの内L=18.0mの用水路整備を実施します。

当該路線の計画は、現道拡幅と用水路整備ですが、現在まで、本線改良は家屋が立ち並ぶ箇所まで実施し、耕作地側は用水路整備を先行して実施しております。今後、一部残る道路拡幅と用水路整備については、施工時期の検討が必要です。

## ◆令和5年度の事業概要

用水路整備工事 L = 18.0m





## 市道大更駅東線整備事業

### ◆事業経緯・課題

令和4年度で、市立病院職員駐車場前の施工済み箇所から市道赤森線手前の交差点までのL = 18mの改良を実施した。

令和5年度では、昨年度の完了位置から市道赤森線までのL = 58.0m改良を実施します。

### ◆令和5年度の事業概要

改良延長L=58.0m、配水管布設替設計1.0式、布設替工事1.0式、電柱移転補償(電力柱1本、NTT柱1本)



## 市道時森線整備事業

### ◆事業経緯・課題

整備済みの市道時森線について、隣接する国道282号の道路台帳整備が必要な為、令和5年度で実施します。

### ◆令和5年度の事業概要 道路台帳整備業務1.0式





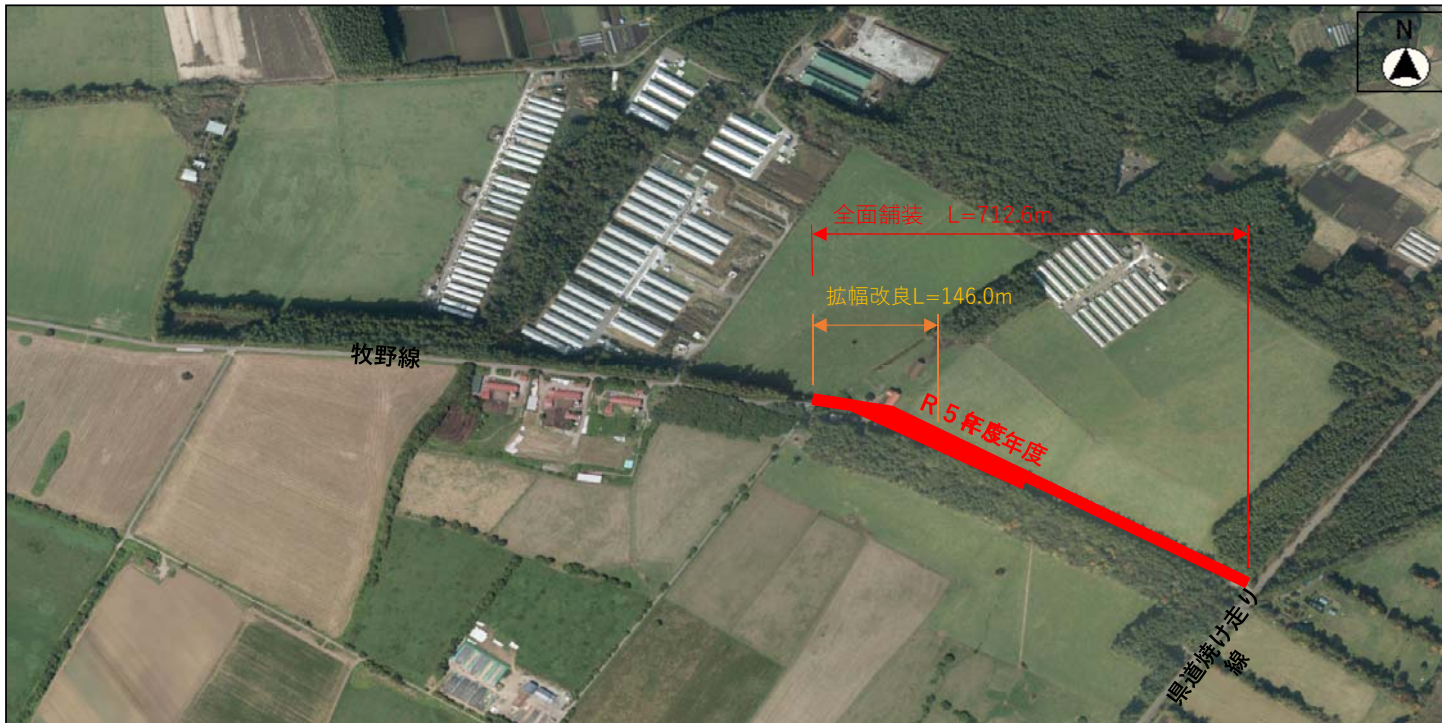
## 市道牧野線整備事業

### ◆事業経緯・課題

令和4年度で拡幅改良を発注し、現在、繰越明許でL=566.6mの整備を実施している。  
令和5年度では、昨年度の完了位置から上坊牧野監視舎付近までの拡幅改良を実施し、令和4年度に拡幅改良を実施した分も含めて全面舗装を実施します。

### ◆令和5年度の事業概要

拡幅改良延長L=146.0m 舗装延長L=712.6m



## 八幡平スマートIC整備事業

### ◆事業経緯・課題

令和4年9月22日に連結許可となり、令和5年3月22日で整備に係る基本協定及び細目協定の締結を行った。令和5年4月中に年度協定書を締結し、事業に取り掛かる。

令和5年度では、上下線の市道から料金所までの範囲と一部側道等の詳細設計（路線測量・地質調査・道路詳細設計）を行います。また、インター線への右折レーン設置の為、市道の詳細設計（交差点詳細設計）を行います。実施にあたり、NEXCOと事前に協議を行う必要があるため、発注時期はそれにより確定する予定です。

### ◆事業概要

市道スマートIC上下線の詳細設計業務L=0.26km、交差点詳細設計2箇所、基準点測量10点、路線測量1.0式、物件補償調査業務(立木・附帯構造物・建物)1.0式



## 県代行事業(市道栴沢線整備事業)

## ◆事業経緯・課題

当該箇所の整備に伴い、一級河川赤川に架かる橋梁工事を県代行により令和4年度から実施している。橋梁工事は、令和4年度から令和7年度までの計画で進められている。市道工事については、橋梁工事が完了した令和8年度から施工予定であり、全線完了後旧橋の撤去となる。

## ◆事業概要

改良延長L=500.0m、うち橋梁工事はL=40.0m 施工後既設橋梁の撤去





## 1. 公共土木施設災害復旧事業とは

災害復旧事業は、公共土木施設災害復旧事業費国庫負担法によって定められており、その法律上において「地方公共団体の財政力に適応するように国の負担を定めて、災害の速やかな復旧を図り、もって公共の福祉を確保すること」を目的としています。

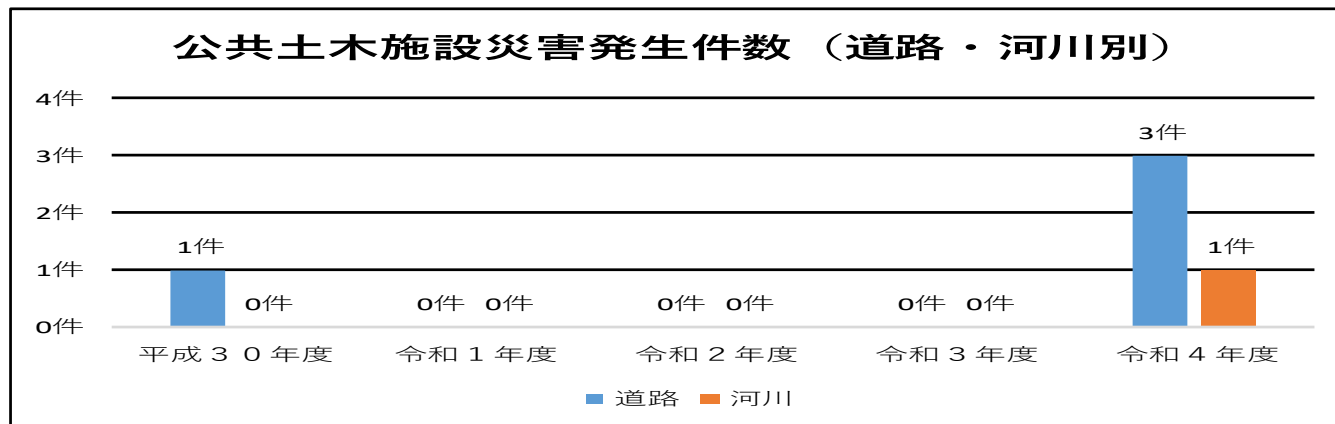
公共土木施設の維持・管理は原則、地方公共団体等の施設管理者が行うべきとされていますが、一定以上の災害においては財源調達が困難であることは明らかであり、早期復旧を期することができません。このため、異常な天然現象により被災した公共土木施設の復旧にあたっては、地方公共団体の財政力に適応するように効率的な国庫負担を行い、その速やかな復旧を図ることとしています。

## 2. 気候変動による水災害の激甚化・頻発化

短時間強雨の発生回数の増加や台風の大型化等、既に温暖化の影響が顕在化しており、今後さらに気候変動により水災害の激甚化・頻発化が予測されている。

近年、全国各地で毎年のように大規模な水害が発生し、甚大な人的被害や経済損失をもたらしており、令和元年度の水害被害額は統計開始以来最大の2兆1,800億円であった。

## 3. 八幡平市における過去5年間の災害発生状況





# 公共土木施設災害発生状況

# 土木係

## 4. 令和4年度 被災状況

- 令和4年7月5日豪雨災害
- 曲田地区 準用河川打田内川(河川災害) 荒屋観測所 時間雨量36mm



- 令和4年8月3日豪雨災害
- 兄川地区 一級河川兄川(道路災害) 荒屋観測所 時間雨量81mm

